

2024 年度学友会 就任あいさつ

学友会会長就任にあたり、三木市高齢者大学及び学友会の沿革について少しのべさせていただきます。

三木市高齢者大学は、昭和 58 年 5 月に兵庫県老人大学講座みき学園として開設され、昭和 63 年 4 月から三木市老人大学として独立、更に平成 4 年 4 月から「三木市高齢者大学」と名称を変更し、令和 5 年 4 月から大学の愛称を「みっきいシニアカレッジ」として呼ばれ親しまれております。また、平成 19 年に大学院が創設され、入学者は現在までに 2,708 名、卒業生は 2,127 名となっています。



学友会は、高大卒業生で組織され、相互の親睦と社会貢献を理念に平成 16 年に結成されました。以来今日の第 20 回学友会総会を迎えるに至りました。現在の学友会会員は、22 期生から 31 期生までの 236 名となっております。

学友会の活動はグラウンド・ゴルフ大会から始まり、日帰り旅行、清掃ハイキング、総会をはじめ、高大との交流事業である（グラウンド・ゴルフ、大学祭）など年間を通じて学友会活動が活発に行われています。

しかしながら、新型コロナウイルスにより、学友会の事業活動が制約され、感染ピーク時には人が集まる全てが中止となりました。昨年あたりからようやく社会活動も動き出したところです。その影響もあって、高齢者大の入学生が大きく減少し自治会活動も大きく制約される中、事業活動も縮小、簡素化、中止する事態となり学友会の活動も同様な事態となっております。

学生数の減少は学友会の会員数にも昨年あたりから、学友会の事業計画・運営に影響ができております。そういう中であって今後の学友会活動については、諸先輩方の築かれた伝統を踏えつつ、高齢者大学自治会と連携しながら、現状に即した事業活動を進めるとともに会員相互の親睦と社会貢献に向けて行ってまいります。

2024 年度の運営は、29 期役員が責任学年となり、29・30・31 期 16 名で構成される準備役員会でよく打ち合わせを行い、役員会に諮りながら事業を進めてまいります。

最後に会員皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とします。

2024 年度学友会会長 小山 利治